

審査員特別賞

環境にやさしい「ソーラースクーター」発進!

山梨県甲府市 村山力さん

特徴

- 本人は山梨県環境創造課地球温暖化対策担当。
- 二酸化炭素の削減に大いに寄与するとしてソーラースクーターを考案。現在使用中(法律的な問題はない)。
- 不使用時は自宅のソーラー発電で充電できる。



村山さんと「ソーラースクーター」

ゼロエミッションを実現する、太陽光で走るスクーター。

甲府市にお住まいの村山さんは、役場では地球温暖化対策を担当し、日頃からさまざまなエコ活動を推進しています。

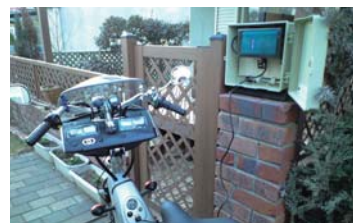
山梨県では温室効果ガス総排出量の40%は自動車など運輸部門からのものだそうで、全国平均20%と比べると、自動車への依存度がとても高いことが分かります。また、日本自動車工業会の「平成15年度乗用車市場動向調査」などから算出すると、使用されている自動車の半分は1日平均10km以下の平均走行距離となっているそうです。

村山さんはこの点に着目して、1日平均10km程度の移動ができる「ゼロエミッション・シティーコミューター」の製作に取り組むことにしました。

製作にあたって、交通渋滞緩和や利用時の手軽さ、購入費、維持管理費などを考え、電気スクーターを購入。エネルギー源は、個人でも取り組みやすい太陽光発電にしました。スクーター本体には、バッテリーの自然放電を防ぎ、補助発電を行うソーラーパネル(モーターポート用4.5W)を4枚装着。自宅には、メインの太陽光発電設備として、175Wのソーラーパネルを1枚設置し、バッテリーへの充電を行います。

走行中は騒音も排気ガスもありません。ガソリン消費量も二酸化炭素排出量もゼロになりました。通勤時は、日当たりの良い場所に駐車し、本体に装着したパネルで充電し

ます。帰宅後は、自宅に設置されたソーラーパネルで発電され蓄えられたバッテリーから、ソーラースクーターに充電し、翌朝の出勤に備えます。自宅のソーラーパネルか



太陽光発電の装置でスクーターを充電

からも充電できるので、雨天など太陽光発電に向かない日が2日続いても、10~15kmは走ることができるそうです。

ソーラースクーターで環境にやさしい社会の実現を。

2008年2月17日から3月31日まで通勤(往復約10km)を中心に使用し、約203km走行しました(現在も使用中)。これによって、自動車の燃費に換算すると約22リットルのガソリン消費を削減。今後も長距離以外では、ガソリンを必要としない外出が可能となったそうです。

また、職場の駐車スペースが県会議事堂の横だったため、県民や県職員、県会議員などからの問い合わせも多数寄せられたそうです。「通勤に使うことによって多くの人の目にふれることができ、このソーラースクーターを見た方々に、環境にやさしい社会の実現への夢と、エネルギー・地球温暖化問題へのチャレンジ精神を与えられた」と村山さん。今後もこのソーラースクーターを通して、多くの人々にクリーンエネルギーの大切さを伝えていくそうです。



発電量を計測するメーター

■プロフィール

住所:山梨県甲府市
家族構成:大人1人
住宅様式:一戸建て
省エネ活動について:今回初めて実践